

国際シンポジウム2019

どなたでもご参加いただけます

火山噴火と リスクコミュニケーション

大噴火が発生した場合、住民・研究者・防災担当者が一体となった対応が不可欠です。
本シンポジウムでは、国内外の事例をもとに火山噴火時のリスクコミュニケーションのあり方について考えます。
皆様のご参加をお待ちしております。

第1部 9:30~

火山噴火とリスクコミュニケーション — 国内外の事例から —

第2部 15:20~

パネルディスカッション — 効果的なリスクコミュニケーションを実現するには —

日時 11.30 [土]

9:30~16:30 / 9:00開場

会場 山梨県富士山科学研究所
ホール(1階)〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
▶中央自動車道河口湖ICより5 km

お申込み方法

1 QRコードよりお申込みの場合

右記のQRコードより、フォームに必要な事項をご記入の上、送信ください。



富士山研



2 FAXでお申込みの場合

裏面の申込用紙にご記入の上、送信ください。

11/26(火)×切

当日参加も可能ですが、事前申込みにご協力ください。

国際シンポジウム2019 プログラム

日時：2019年11月30日(土) 9:30-16:30 会場：山梨県富士山科学研究所 ホール
司会進行：石峯康浩(山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター)

9:30-9:45	開会の挨拶 趣旨説明	弦間正仁(山梨県県民生活部 部長) 吉本充宏(山梨県富士山科学研究所 富士山火山防災研究センター センター長)
第1部 火山噴火とリスクコミュニケーション — 国内外の事例から —		
9:45-10:25	講演1「北スラウェシ州・カラングタン火山災害の危機管理から学んだ教訓」	Andreastuti Supriyati(インドネシア 火山地質災害軽減センター)
10:25-10:50	講演2「御嶽山噴火災害への対応」	南沢 修(長野県木曾建設事務所)
10:50-11:05	休 憩	
11:05-11:45	講演3「コロンビアで学ぶ火山との共存」	Marta Lucia Calvache(コロンビア地質調査所)
11:45-12:10	講演4「大規模噴火でも「犠牲者ゼロ」を目指して」	中 豊司(鹿児島市危機管理局危機管理課)
12:10-13:30	昼 休 憩	
13:30-14:30	講演5「ハワイ・キラウエア火山2018年噴火：噴火時に何が起こり、どう対応したか？」	James Kauahikaua(USGS ハワイ火山観測所)
14:30-15:00	講演6「箱根山で2015年に発生した小規模水蒸気噴火への対応とその後の対策」	菊島信洋(箱根町総務部総務防災課)
15:00-15:20	休 憩	
第2部 パネルディスカッション — 効果的なリスクコミュニケーションを実現するには —		
15:20-16:20	コーディネーター パネリスト	藤井敏嗣(山梨県富士山科学研究所 所長) James Kauahikaua(USGS ハワイ火山観測所) Marta Lucia Calvache(コロンビア地質調査所) Andreastuti Supriyati(インドネシア 火山地質災害軽減センター) 南沢 修(長野県木曾建設事務所) 中 豊司(鹿児島市危機管理局危機管理課) 菊島信洋(箱根町総務部総務防災課) 伊藤和貴(気象庁 地震火山部火山課)
16:20-16:30	閉会の挨拶	初鹿野晋一(山梨県富士山科学研究所 副所長)

※講演タイトルは変更になる場合があります。

国際シンポジウム2019参加申込書

11/26(火) 〆切

山梨県富士山科学研究所 広報・交流担当行 FAX:0555-72-6204

このまま送信してください。

氏名	所属	連絡先	
			<input type="checkbox"/> お弁当を注文する <input type="checkbox"/> 送迎を希望する
			<input type="checkbox"/> お弁当を注文する <input type="checkbox"/> 送迎を希望する

■お弁当の斡旋をいたします。ご注文を希望する方は「お弁当を注文する」を○で囲んでください。代金(500円)は当日受付にて徴収させていただきます。
■河口湖駅より富士山科学研究所までの送迎をいたします。ご希望の方は「送迎を希望する」を○で囲んでください。河口湖駅を9:05に出発いたします。
※申込書にご記入していただいた個人情報は、本講演会の管理・運営以外の目的には利用しません。